


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		<b>都立武蔵台学園</b> 病弱・知的障害		通学区域	本校(立川市の一部、国立市全域、国分寺市全域、府中市の一部)
		<b>知的障害教育部門と病弱教育部門を併設する特別支援学校</b>		進路実績	本校高等部 平成30年度 一般就労率20%
基	所在地	〒183-0042 府中市武蔵台二丁目8番地28号	電話番号 042-576-7491	本 情 報	教育課程 の 特 徴
	アクセス	(1) JR中央線、武蔵野線、西国分寺駅下車 徒歩10分 (2) (3)			
設置学部	本校(知的障害教育部門) 小学部、中学部、高等部 分教室(病弱教育部門) 小学部、中学部				
幼児・児童生徒数	本校322名(小学部103名、中学部74名、高等部145名) 分教室60名(小学部25名、中学部20名)				
学級数	本校62学級(小学部23学級、中学部16学級、高等部23学級) 分教室24学級(小学部13学級、中学部11学級)				
情	副籍実施状況	本校 平成30年度 副籍交流(間接 小28名、中15名、直接 小19名、中3名)			
	学校評価	本校のみ実施。保護者回答率72.6%、福祉施設15団体、企業7社、および高等部生徒14名から聞き取りを行った。保護者アンケートでは回答者の97%以上から安全・安心な学校づくりに対して満足しているという回答が得られた。			
報	スクールバス	本校7台(大型3台、中型3台、小型1台)			
その他	本校:「特別支援学級の専門性向上プロジェクト(国分寺市)」 分教室:「病院内教育における自立活動の在り方の研究事業」				
ホームページ	<a href="http://www.musashidai-sh.metro.tokyo.jp/">http://www.musashidai-sh.metro.tokyo.jp/</a>				

目指す学校 **児童・生徒一人一人に応じた自立と社会参加を目指し、安心安全な環境づくりと教育的ニーズに応じた専門的な教育を推進する学校**

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<b>安心安全な学校運営の推進</b> ①事故防止週間の設定による危機管理意識の醸成 ②各学期初めに、今までの事故事例を基にした事故防止研修の実施 ③案件に応じた関係者会議の実施及びヒヤリハット等の共有と防止策の検討	①事故防止週間の設定により、各教員が危機管理意識をもって職務に当たった。児童・生徒の大きなけがや ②事例を通して教員間で意見交換し、事故防止に向けた意識を高めることができた。 ③職層やラインを意識した情報共有とコーディネーターとの連携により、円滑な支援会議の実施や各機関との連携を図ることができた。 ④研修を通して教職員のサービスへの意識を高め、主幹教諭や主任教諭と連携したサービス管理を行い、大きな事故なく学校経営ができた。	
目標②	<b>外部専門家の積極的な活用による専門性向上</b> ①一人1回研究授業実施(研究授業及び研究協議会を活用した授業改善) ②研究や実践発表及び外部講師による助言・講演会の実施 ③教育庁研究指定による指導内容・方法等の充実及び人材育成	①研究テーマに沿った研究授業を全教員対象に行い、授業改善や指導の手だての共有を図ることができた。 ②夏季休業等を活用し、外部講師による講演会を15回程度実施した。知的障害教育外部専門員が来校し、児童・生徒に対するアセスメントや授業観察等を行い、教員の専門性の向上につなげることができた。 ③研究指定を受けた知的障害と視覚・聴覚障害を併せ有する児童・生徒に対する指導内容・方法の充実を図るための研究授業や作業部会へ出席した。また、他校の研究発表会や研究開発委員会の成果発表会等に教員を派遣し、指導の充実に生かすことができた。	
目標③	<b>地域における特別支援教育のセンター的機能の充実</b> ①市教委との連携による特別支援学級専門性向上事業の推進 ②交流及び共同学習の推進 ③地域の小中学校への支援の実施	①国分寺市の特別支援学級への支援を中心に、学区域の特別支援学級に対して、指導教諭やコーディネーターを派遣し、研究や指導改善に向けた助言を15回程度行った。 ②学校間交流では、事前にコーディネーターを通じて、障害理解や学習内容の工夫等に対する助言を行い、充実した活動ができた。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	学校評価の安心安全項目の保護者満足度					80	97	100	97			
目標②	一人1回研究授業実施率					100	95	100	95			
目標③	高等部卒業後の希望進路先への就労率					80	90	100	100			